

平成 26 年度 地域懇談会実施報告

1. 開催日

- (1) 平成 26 年 10 月 28 日 (火) 午後 2 時～
勤労福祉センター 大会議室
参加者数 20 名
- (2) 平成 26 年 10 月 29 日 (水) 午後 2 時～
大野公民館 多目的ホール
参加者数 17 名
- (3) 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 午後 2 時～
行徳文化ホール I&I 大会議室
参加者数 19 名

2. 当日配布資料

- (1) 高齢者福祉に関する地域懇談会(パワーポイント資料)
- (2) やさしい介護保険(パンフレット)
- (3) 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 (平成 27 年度～29 年度) 骨子案
- (4) 市川市パブリックコメント意見提出用紙
- (5) アンケート用紙

3. 地域懇談会での主な意見

(介護予防について)

- ・現在 112 ヶ所で活動している「てるぼサロン」を介護予防事業としてうまく活用する方法を考えてほしい。
- ・高齢者が増える中、一般介護予防事業の推進が一番大切と考えている。少しでも介護の状態にならないために、歩くことなど大事なことだと思う。
認知症になる要因として、社会との関わりが薄い人、一人である人が考えられるため、地域で一緒に関わっていけばそのようなことが減っていくと思う。市川市では、このことについてどのように考えているのか。
- ・市川市はゲートボール等の高齢者が近くでスポーツ等ができる会場が少ない。大柏地区にはない。好きなときに近くの会場で参加できるような施設をつくってほしい。

- ・介護予防のために予防サービスの基盤が重要ということは誰もが考えていると思う。基盤整備について、ソフトウェアだけでなく、ウォーキングコースなど、自主的に活用できるハード面での整備も必要ではないか。

(支援事業について)

- ・介護保険が変わるということで、要支援は市川市に下りてきて、それをボランティアやNPOでサービス提供を行うようになるかと聞いている。これが果たして可能なのか。

(認知症対策について)

- ・認知症対策の推進について、5期計画では基本目標の1つに位置づけられていたが、6期では施策の1つとして事業項目もかなり少なくなっている

前期に設定されていた事業で認知症対応型の介護施設の整備、権利擁護、認知症ケアの充実はそれぞれの事業目標が5期で達成されたとは思えず、むしろニーズは高まっていると思う。継続して取り組む事業として計画に反映させるべきである。

- ・認知症初期集中支援チームの設置については、支援体制の仕組みとしては有効であると思うが、本来認知症に関しては本人はもとより家族も周囲には知られたくないという気持ちが根底にある。

支援チームを有効に機能させるために本人又は家族が気軽に診断を受けられるような窓口を医療機関内に設け、そこでの診断結果を踏まえて専門支援チームにつなげる仕組みが考えられないか。

(特別養護老人ホーム等の施設整備について)

- ・認知症対策として、グループホームはこれから足りなくなるだろう。市がリーダーシップをとって考えてほしい。
- ・行徳・南行徳には特養がないので、作っていただきたい。

(地域包括支援センターについて)

- ・地域包括支援センターにはどのような職種の人が配置され、拠点はどこになるのか。また活動内容や住民への周知について明確にしてほしい。行政の役割についても示してほしい。

- ・エリアですが、行徳、南行徳は絶対数が大きくて、包括支援センターが1ヶ所で15万人くらいみている。国の指針では4万か5万に一つと言われているが、市川市は厳しい状態である。南部の包括は本来の仕事ができない状態にあるのではないかと。せめて2ヶ所作ってくださいとお願いしたことがあったが、今回、そのところを是非加味していただきたいと思う。

(地域ケアシステムについて)

- ・生活支援コーディネーターはコミュニティワーカーが近いので、現在の仕事に加わるイメージなのか、
- ・計画を立てるにあたって、地域ケアシステムの活用や協働をお願いしたい。地域によってニーズが違うことは、地域ケアシステムに関わる方がよく知っている。市川独自のやり方を取り入れてほしい。

(計画の策定・推進・進行管理等について)

- ・今の骨子案はマスタープランであり、美辞麗句が書いてある。これをアクション計画におろし、誰が何をやるのか、どのように具現化するのかを明確にしてほしい。

(地域懇談会について)

- ・自治会として自分の所にもらったチラシが少なく、回覧できなかった。もっと自治会を利用すべき。
- ・地域懇談会に集まった人数が少なく、宣伝の方法を間違えたのではないか。あらかじめ、自治会等には資料を配布してから説明したほうが良かったのでは。

(その他)

- ・地域福祉支援課で実施したモデル事業の進捗を聞きたい。
- ・一人暮らし、認知症の人が増加する中で、地域で見守り・支援を行うため地域資源のネットワークを有効に活用するためには、「関連組織間での情報共有」と「個人情報の適切な取扱い」が不可欠である。生活支援のサービス基盤を充実させるためには追加したい事業である。
- ・高齢者クラブの活用が重要と考える。加入率が低い、市として今後どのように働きかけていくのか。
- ・協議体の設置とあるが、今、地域ケアや地区推進会議で地区の課題を抽出していこうということで、住民と行政と社協の会議が既に持たれているが、この協議体は新たに設けるのか確認したい。

4. アンケート結果

10月28日(火) 勤労福祉センター	回答数	13名
10月29日(水) 大野公民館	回答数	16名
10月31日(金) 行徳文化ホール I&I	回答数	19名

問1 年代			10月28日	10月29日	10月31日
(1)39歳以下	0名		名	名	名
(2)40歳～64歳	7名	14.6%	2名	3名	2名
(3)65歳～74歳	24名	50.0%	6名	6名	12名
(4)75歳以上	17名	35.4%	5名	7名	5名
無回答	0名		名	名	名
合計	48名	100%	13名	16名	19名

問2 性別			10月28日	10月29日	10月31日
(1)男性	37名	77.1%	10名	11名	16名
(2)女性	11名	22.9%	3名	5名	3名
無回答	0名		名	名	名
合計	48名	100%	13名	16名	19名

問3 住所			10月28日	10月29日	10月31日
(1)市内	44名	95.7%	11名	14名	19名
(2)市外	2名	4.3%	1名	1名	名
無回答	2名		1名	1名	名
合計	48名	100%	13名	16名	19名

問4 懇談会を何で知ったか (複数回答あり)			10月28日	10月29日	10月31日
(1)民生委員	10名	19.6%	1名	1名	8名
(2)自治会	24名	47.1%	10名	7名	7名
(3)高齢者クラブ	7名	13.7%	名	3名	4名
(4)市の施設	1名	2.0%	名	1名	名
(5)学校	0名	0%	名	名	名
(6)市の広報紙	5名	9.8%	名	3名	2名
(7)ホームページ	0名	0%	名	名	名
(8)その他	4名	7.8%	1名	2名	1名
無回答	1名		1名	名	名
合計	52名	100%	13名	16名	23名

問5 介護の経験			10月28日	10月29日	10月31日
(1)ない	20名	42.6%	3名	6名	11名
(2)ある	27名	57.4%	9名	10名	8名
(内訳・複数回答あり)					
父母	11名		3名	2名	6名
義父母	11名		1名	5名	5名
配偶者	1名		名	1名	名
兄弟姉妹	1名		1名	名	名
その他	4名		3名	1名	名
無回答	2名		1名	1名	名
無回答	1名		1名	名	名
合計	48名	100%	13名	16名	11名

問6 高齢者福祉・介護事業で関心があること	
10月28日	高齢者福祉、認知症予防、施設。
	来春の介護保険制度改正に備えての具体的な準備を行政がすべき。 この点の具体的な施策を期待している。
	高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者等の対策の推進。
	要介護の3, 4, 5くらいになったとき特養に入れるか、心配です。
	介護保険制度と費用について。
	高齢者の急速な増加。
10月29日	予防について。日々健康で健やかに暮らすには、軽スポーツ等自由にやりたい。
	計画策定のプロセス、該当施策・事業。
	介護保険のしくみ。
	介護が必要になる前の生きがいくつと、介護予防の推進に関心があります。
	高齢者福祉。
	地域包括ケアシステムと介護予防。
	介護関係の話。
	介護と医の連携。
10月31日	特養等の施設。
	デイケアで行う支援でなく、運動機能向上に関心があります。
	介護予防の推進。
	高齢者福祉、拠点づくりと区割りに力を入れて下さい。

	どちらも関心あり。
	健康であったので、今まで特に関心を抱いた事は無かった。これからよく勉強したい。
	高齢者の急増、人口の減少 etc、介護保険事業が成り立っていくのか。保険料はどのくらいUPするか。
	認知症初期集中支援チーム。 認知症コーディネーターの配置。
	介護保険制度の変更について。
	多様な生活支援。
	自治会内の独居老人対応。 在宅医療と通院対応など在宅介護も。
	「在宅」にて何をどのように出来るか。
	一人でいるときに倒れること。

問7 計画についての意見	
10月28日	もう少し、小さな地域での具体的な事業計画を説明して欲しい。市川市の中でも要望あると思いますので、細かい話を聞きたい。
	課題についてはOK。但し具体策をもっと具体的に。
	段階の集合があつてよかったと思う。いきなりの骨子案は早いと思います。
	特養の数について、入れる人数が少なく、待つ日数が多すぎる。
	介護保険についての話が中心になると思うが、もっと身近に感じられる心配な事とか、意見が出る場（機会）がほしいと思いました。災害についての対応の仕方など話し合えるとよいと思いました。
	特別養護老人ホームの増設をし、待ち時間の短縮を望む。
	計画は立派です。実施して下さい。
10月29日	既に市へ提出してある災害時要援護者カードを他部門でも情報を共有して利用できるようにしてはどうか。
	1.情報の共有化 2.個人情報の取り扱い
	具体的なアクションを明確に。
	高齢者が増える事は充分考えられることです。一般介護予防に力を入れて福祉を必要とする人を減らすのが重要です。もう少し一般介護予防に何をするかハード面を書いて欲しい。
	公民館使用料に於いて、高齢者使用に便宜を図ってほしい。高齢者

	医療保険を 1,2 年病気せず健康で利用しなかった人に何かごほうびを！
	市の計画はよく分かった。是非強力に推し進めてほしい。
	特別養護老人ホームが非常に少ない。特に行徳地区にはありませんので、ぜひ建設をして欲しい。市川市自体での特別養護老人ホームが少ない。
	年々、高齢化社会で介護保険の利用者が増えているので、特養、介護老人福祉施設を増やしていただきたいです。入所したくても、なかなか入所困難が現状です。よろしく願い致します。
10 月 31 日	福祉計画等にもっと重心をおいて欲しい。予算ありきでの回答が多く、今後は予算分配も考慮しては。
	高齢者クラブの充実なくして、両計画の整備はなかなか難しいと思いますので、PR 等の周知をお願いします。
	具体的でよいと思います。
	一般家庭への判り易いパンフレット作成は？(相談窓口など)
	ケアーは大切であるが、力あるシニアを活用することで、被介護を抑制する。元気なシニアが、社会活動が行いやすい施策をとるべきと思う。
	医療・介護の接点に関し、市がどのように働いていくか。
	国の施策は「さぎ」だと思う。消費税は福祉に使うといいながら大企業向けの減税にあてている。市も県も言いなりでなく、もっとものを言うべきだ。

問 8 地域懇談会に参加した感想	
10 月 28 日	地区を細分化して、もっと地域の人に判るやり方を考えるべき。
	骨子案突然の発行で意見が出せませんでした。内容を読んでみます。
	大変良かった。
	参加者が以外と少ない。これは我々がどんな意見を云っても市の収入が多くならないのに高齢者だけが段々と多くなり、予算がないので無理なので、出てきて変わるのか…。
	市民の率直な意見を聞く機会を頂き、たいへん勉強になりました。
	介護保険制度について初めに説明があったのは良かった。前回に比べて、人数が少なかったのが残念。
	参加人数が非常に少ない。自治会に半強制的に参加を募ったらよい

	のでは。
10月29日	説明はゆっくりとわかりやすく。
	もう少し活発な意見、質問があると期待していた。
	今後のことに為になった。
	行政の様々な考えを聞くことができて良かったです。 理念どおりに進むとうれしいですね。
	なぜ、もっと多くの市民が参加されないのか不思議に感じました。 宣伝の仕方が悪いのではないのでしょうか。私はたまたまチラシを見て知りました。
	私は始めて参加しました。今後共によりしくお願いいたします。
	市関係者はもっと勉強してきて下さい。
10月31日	高齢者クラブ等に参加し、問題点等徴集し、色々な計画に役立てて欲しい。
	それぞれの立場の意見が聞けて良かったです。
	男性が多いのはどうして？ 20年地域福祉に関して男性の参加が少ない。自治会ベースで進めたら大変よいと思う。
	活発な意見が出て、とても勉強になった。
	データ説明ばかりで、一方通行かと思いきや、すごくよかったです。
	初めての参加です。地域の方々の活発な意見を聞くことができ、とても勉強になりました。
	状況がよく分かり大変参考になった。
	いろいろな意見が聞けて大変参考になりました。
	14地区社協で地域の方を呼んで、懇談会を開いて欲しいと思う。3地区でやるなら、3つの地区推進会議を利用するのも一手ではなかったか。
	大変に参考になりました。
	説明はポイントを絞って欲しい。
	今後は毎回参加したい。
	市川市の計画は国のいいなりではないか。そういう意味では、よくできている。